

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

国会による決算審査は怎么样了のか

～参議院機能強化の観点から考える～

1) 現行の決算審査スケジュール

明治大学政治経済学部・西川伸一
 nisikawa1116@gmail.com (■→@)
<http://www.nishikawashin-ichi.net/>

@ 基本的特徴

「決算とは、一会計年度における、国家の現実の収入・支出の実績を示す確定的計数を内容とする国家行為の一形式である。」浅野・河野(2003: 125)



日本国憲法・第90条:

国の収入支出の決算は、すべて毎年会計検査院がこれを検査し、内閣は、次の年度に、その決算報告とともに、これを国会に提出しなければならない。

財政法・第40条:

内閣は、会計検査院の検査を経た歳入歳出決算を、翌年度開会の常会において国会に提出するのを常例とする。

1

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18



N年度決算は(N+1)年度に開かれる常会に提出されるのが「常例」。

例) 2004年度決算: 2005年度の常会召集日の2006年1月20日に国会提出。

☆ただし、2005年度決算～:

(N+1)年度の秋に開かれる臨時会開会中に提出されることが慣例化。

例) 2011年度決算: 2012年11月16日に提出。

「常例」: 「通常の例の意味であつて、場合によつては、その例によらないことも可能であることを示している。」吉国ほか(2001: 414)

☆「早期提出」の背景

2003.1.29「参議院改革協議会報告書 決算の早期審査のための具体策」

参議院改革協議会座長 青木幹雄 →参議院議長 倉田寛之

「決算の早期審査を確固たらしめるためには、さらに決算の早期提出が必要である。この点に関しては、財政法の改正を含め検討するとともに、衆議院議長と協議の上、内閣に対し決算を秋の臨時会に提出するよう求め、臨時会中の本会議における概要報告の聴取及び質疑を可能とすることとする。」

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/aramashi/ayumi/150129.html> (2013.10.16閲覧)

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

@過去10年度の決算審査経過 表1

決算年度	国会提出	衆委付託(初)	同議決	本会議議決	参委付託(初)	同議決	本会議議決
2002	04.01.19	04.04.12	04.06.02	04.06.03	04.02.27	04.05.31	04.06.02
2003	04.11.19	<u>04.11.30</u>	05.06.22	05.06.30	04.11.26	05.06.07	05.06.07
2004	06.01.20	06.03.28	06.06.12	06.06.13	06.01.25	06.06.07	06.06.09
2005	06.11.21	<u>06.12.04</u>	07.10.12	07.10.18	06.11.24	07.06.11	07.06.13
2006	07.11.20	<u>07.12.11</u>	08.06.06	08.06.10	07.11.26	08.06.10*	08.06.11*
2007	08.11.21	<u>08.11.26</u>	09.06.24	09.06.25	08.11.26	09.06.29*	09.07.01*
2008	09.11.24	<u>09.12.01</u>	11.08.10	11.08.11	<u>09.11.30</u>	11.02.14	11.02.16
2009	10.11.19	<u>11.01.24</u>	審査未了		11.02.16	11.12.07*	11.12.09*
2010	11.11.22	<u>11.12.07</u>	審査未了		<u>12.02.24</u>	13.05.20	13.05.22
2011	12.11.16	<u>13.01.28</u>	審査未了		<u>13.05.24</u>	184臨時会で継続審査	

(初): 付託されても審査未了となり、次の回次で再び付託された場合、その最初の付託日。 青字: ねじれ国会
*「是認しない」

☆「早期提出」の定着: N年度の決算を(N+1)年度の秋の臨時会で提出

☆「理想的」議決パターン: (N+1)年度臨時会で付託 → 同年度召集常会で議決

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

@決算審査経過の特徴

① 参議院は2007年度決算まではN年度の決算を(N+1)年度召集の常会で議決している。衆議院も2005年度決算を除けば、同じことがあてはまる。



2002～2007年度決算審査は時間的に「理想的」な経過であった。



「決算の審査は、次年度決算が提出されるまでに終了することを常例とすることとする。」「決算審査に関する改善事項」第58回国会・衆院決算委員会(1968.3.22)

「決算の審査は次年度の決算が国会に提出されるまでには終局する。」「決算の審査方針」第40回国会・参院決算委員会(1962.5.5)

表2: 決算の国会提出から本会議議決までの所要日数

決算年度	衆院	参院
2002	137	136
2003	224	201
2004	145	141
2005	322	205
2006	204	205
2007	217	223
2008	626	450
2009	1065*	386
2010	696*	548
2011	334*	337*

青字: 民主党政権での決算審査

*は審査未了/継続審査のため、今日(2013.10.18)までの日数で計算

4

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

② 2009年以降の民主党政権下で、決算審査が滞る。特に衆院は3年度分が審議未了。

*衆院では2009年度以降は審議未了のため2008年度の数値。

表3: 決算議決の平均所要日数

決算年度	衆院	参院
2002～2007	208.2	185.2
2008～2010	626*	461.3

③ ねじれ国会・政権交代で決算への賛否も複雑に

決算年度	執行時与党	審査時与党	審査時ねじれ	自民	民主	備考
2002	自公保	自公		○	×	
2003	自公保	自公		○	×	
2004	自公	自公		○	×	
2005	自公	自公		○	×	
2006	自公	自公	ねじれ	○	×	参: 是認せず
2007	自公	自公	ねじれ	○	×	参: 是認せず
2008	自公	民国	ねじれ	○	○	
2009	自公→民社国	民国	ねじれ	×	○	参: 是認せず
2010	民国	自公		○	○	参のみ
2011	民国	自公				

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

2) 参院改革の中の決算重視

@河野謙三議長の「ラブレター」

「重宗王国」打破のため参議院改革を訴える「河野書簡」を全参院議員に送付; 与党の一部と野党の支持を受け、議長に当選



就任1週間後に議長の私的諮問機関「参議院問題懇談会」を設置

1971.9.23「参議院運営の改革に関する意見書」

「参議院は行政監視機能の発揮にため、特に決算を重視し、審査にあたっては、会計検査院の検査報告にのみ重点を置くことなく、予算の執行が国会で議決された趣旨に沿っているかどうかの実際を深く検討することが望ましい。」河野(1978: 242)

☆「点」ではなく「線」としての決算審査

撮影・須長孝栄 昭和52年9月20日



こうの・けんぞう (1901-1983)
参院議長在任 1971.7-1977.7

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

@齋藤十郎議長の「参議院制度改革検討会」

1995年7月議長就任→同年10月に議長の私的
諮問機関「参議院制度改革検討会」を設置



1996.12.16答申「決算審査の充実について」

- 1 決算の早期提出と財政法等関係法令の改正
- 2 決算の早期審査に対する配慮
- 3 警告決議及び内閣の講じた措置の報告につ
いての改善〔①～③略〕
- 4 検査官任命同意に関する衆議院優越規定の
削除
- 5 決算委員会における検討

①決算審査の成果が後年度の予算編成及び
施策遂行に一層反映できるよう審査すること。

②決算審査に各省庁の事務次官を出席させること。(参議院 2002:238-240)

☆「1」「2」について、その後、参院議長あるいは参院議院運営委員長が、
各派代表、衆院議長、常任委員長、および官房長官に協力要請。



さいとう・じゅうろう(1940-)
議長在任1995.7-2000.10

7

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

@参議院自民党の取り組み

1998参院選選挙公約スローガン:「参議院改革によって政治を変えます」
「決算審査の結果を後年度の予算に反映できるよう、決算書の提出時
期を改める仕組みを検討」自民党政務調査会(1998:10)

1999.5参議院自民党政策審議会・参議院改革に関する委員会:

「決算の重視等に関する提言」発表

「政策評価の充実強化に呼応した国会の決算審査の在り方を早急
に検討しておく必要があ[る]」

「[決算]の結果を次期の予算編成に反映させ、また、行財政執行
の改善を求めるところに」決算の意義はある。

「決算審議を予算編成にも反映できるよう、審議日の確保等運用
面を主体とした改善措置について早急にこれの実現を図るべきで
ある。」

例) 財政法第40条の改正



2001参院選選挙公約:「決算委員会の審査を予算の審査並みに最重視する」



2003.1「参議院改革協議会報告書 決算の早期審査のための具体策」(前出)

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

@自民党所属の歴代参院決算委員長 表5 注)泉と鶴保の間に民主:
小川敏夫、神本美恵子が就任。

	氏名	就任年月日	当選回数	閣僚経験
1	浦田 勝	1995.8.4	2b(任期後期/改選が次回通常選挙)	なし
2	野沢太三	1996.6.19	2b	なし
3	宮崎秀樹	1997.6.18	2b(2期目は繰上当選)	なし
4	久世公堯	1998.8.7	3a(任期前期/改選が次々回通常選挙)	なし
5	鎌田要人	1999.8.13	2b	なし
6	谷川秀善	2000.9.21	1b	なし
7	岩井國臣	2001.9.27	2a	なし
8	中原 爽	2002.7.31	2a	なし
9	鴻池祥肇	2003.9.26	2a(衆院で当選2回)	あり
10	中島真人	2005.10.12	2b	なし
11	泉 信也	2006.9.28	3a(自民→新生→新進→自由→保守→保守新→自民)	なし
12	鶴保庸介	2010.10.1	3a(自由→保守→保守新→自民)	なし
13	山本順三	2011.10.20	2a	なし
14	金子原二郎	2012.10.29	1b(衆当5回、長崎県知事3期)	なし

21世紀政策研究所・第4回研究会/2013.10.18

3) 鴻池祥肇が挑んだ「決算革命」

@異例の鴻池祥肇決算委員長人事

鴻池祥肇:当時衆院当選2回、参院当選2回a
第1次小泉内閣第1次改造内閣
特命担当大臣(構造改革特区・防災)

☆異例の「大物」委員長:異例の2年在任
青木幹雄参議院改革協議会座長・
自民党参院幹事長の意欲の現れ。「乱暴

@鴻池「革命」の成果

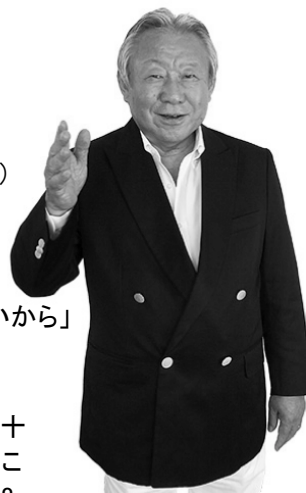
岩井國臣元参院決算委員長:

「[決算]を何とか二か月ほど早めて十一月の二十
日までに国会に提出していただけないか[中略]こ
れはもう参議院全体の悲願」参院決算委2004.3.8

★前年度決算の11月中の国会提出の実現

=2003年度決算:2004年11月19日に国会提出

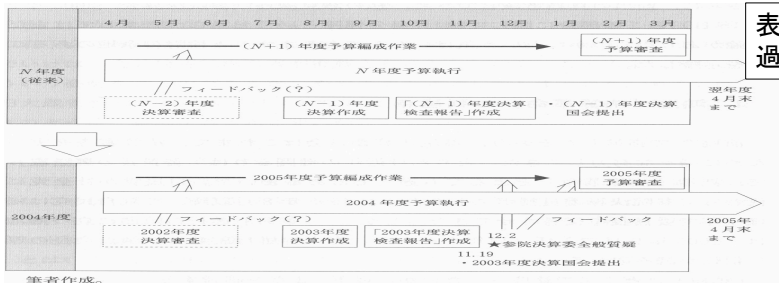
☆2004年度決算を例外として現在まで継続=定着



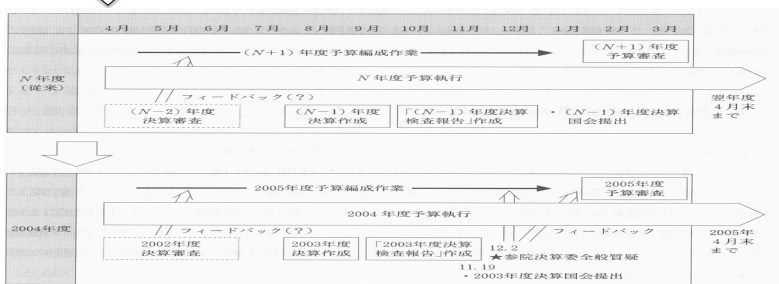
こうのいけ・よしただ(1940-)

松井孝治・民主党筆頭理事
「われわれは鴻池組です」
岩見(2005)¹⁰

表6: 予算循環過程の変化



↓ 鴻池「決算革命」



西川(2005:144)

4)「裏切られた革命」?

「2008年度決算が、国会提出から1年以上も議決されないまま、たなざらしになっている。参院改革で決算審査の迅速化を図り、近年では提出から5~8カ月で議決されていたが、国会混乱のあおりを受けた。10年11月には09年度決算も提出され2年分を抱える異例の事態となっており、参院からは「これまでの改革が水の泡だ」との懸念も出ている。」

『共同通信』配信記事、2011年1月6日付。

引用・参考文献

浅野一郎・河野久編著(2003)『新・国会事典』有斐閣。
 岩見隆夫「<近聞遠見>鴻池が挑む「決算革命」」『毎日新聞』2005年6月18日付。
 河野謙三(1978)『議長一代』朝日新聞社。
 参議院事務局(2002)『平成十四年度版 参議院改革の経緯と実績』財務省印刷局。
 自由民主党政務調査会編(1998)『第18回参議院議員選挙 わが党の公約』自由民主党広報本部出版局。
 ———(2001)『第19回参議院議員選挙 わが党の公約』同。
 西川伸一(2003)『この国の政治を変える 会計検査院の潜在力』五月書房。
 ———(2004)「「決算制度」見直しの流れは定着するか」『政経論叢』第73巻第1・2号。
 ———(2005)「会計検査院の独立性をいかに強化するか」『同』第74巻第1・2号。
 吉国一郎ほか編(2001)『法令用語辞典(第八次改訂版)』学陽書房。